



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2021/11/23発行

第94号

文部科学大臣杯
全国青年弁論大会に出場

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

文部科学大臣杯 全国青年弁論大会に出場

日本ベンジャミン人間性英才学校6期アドバンス生の久保佑太君が、2021年11月14日に一宮市修文大学で開催された第66回文部科学大臣杯全国青年弁論大会に出場しました。

会場では、原稿審査を通過した一般の部、中高生の部を合わせて37名が、明るく健全な地域社会の発展に寄与する自由なテーマで各々が熱い弁論を繰り広げました。

久保君の弁論テーマは、『今の時代、なぜ地球市民意識が必要なのか』です。

原稿審査に向けた準備を始めたのは、9月のこと。自分が何を伝えたいのか、考え、迷い、何度も原稿を書き直しながら、最終的に満足できる原稿を完成させました。そして、原稿審査を無事通過し、弁論大会へ出場する権利を得ることができました。

弁論のための練習では、様々な壁にぶつかったといいます。その度に、自分自身に「大丈夫」と語りかけながら、鏡の前で話す練習をしました。練習をサボりたいという気持ちとも闘い、一つひとつ壁を乗り越えていきました。この過程で「自分と対話ができるようになった」という成長ストーリーを聞かせてくれました。



本番では、それまで練習してきた成果を存分に発揮し、自信を持って生き生きと、ありのままの想いを込めて自分の意見を発表しました。

大会に出場した久保君に感想を聞いてみました。「最初は、とても緊張しましたが、途中からは気持ちに余裕も出てきてすることができた」「自分とは違う角度からの考えを知ることができたり、自分も『弁論』という一生のうちにあまりしないであろう経験ができて面白かった」「やりきった」という気持ちでいっぱいになり、自分で自分を認めてあげることができたそうです。

久保君は、今回の経験を生かして、自分を表現する新たなプロジェクトに取り組み予定です。

日本ベンジャミン人間性英才学校では、生徒一人ひとりがプロジェクトに取り組み、5徳(5つの徳目)集中力・忍耐力・創造力・責任感・包容力)を身に付けていきます。



Instagramで最新情報公開中

詳しくは
ベンジャミン学校 検索